

令和7年度
運営に関する計画



大阪市立大隅東小学校
令和7年4月

大阪市立大隅東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

- 校区は旧来居住の地域と新たに田畠を開発した新興集合住宅が多数を占める地域である。経済的な課題や養育上配慮を要する背景をもった家庭の割合も近年増加傾向にあり、安定した子どもの日常生活の確保に課題もあるため、家庭・地域・関係諸機関との連携に努め、教育活動に取組む必要がある。
- 生活面においては、どの学年も落ち着いて学校生活が送られている。しかしながら登校することが課題の児童の割合が近年増加傾向にあるため、保護者や関係諸機関と連携した取り組みが必要である。
- 学習面については、「教科を学ぶことは好きだ」「授業の内容はよくわかる」といった子どもたちの肯定的な意見は増えつつあるが、一方で学力経年調査の正答率とは必ずしも連動していない。児童の学習内容の習得状況を確認しながら、誰一人取り残さない実質的な学力向上を目指す必要がある。

中期目標

(1) 【安全・安心な教育の推進】

①安心・安全な教育環境の充実

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

②豊かな心の育成

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする
- 令和7年度の大阪市学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合90%以上を維持する。

(2) 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

④誰一人取り残さない学力の向上

- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も100以上にする。

⑤健やかな体の育成

- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上とする。

(3) 【学びを支える教育環境の充実】

⑥教育DXの推進

- 授業日において(学校行事等で活用が適さない日は除く)、学習者端末の活用を100%にする。

⑦人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ゆとりの日を週1回設定し、定時退勤できるようにする。

⑧生涯学習の支援

- 令和7年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。

⑨家庭・地域等の連携・協同した教育の推進

- 学年や学校全体での地域の人材や社会教育施設等を活用した学習の実施割合を100%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことがありますか」の設問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合90%以上を維持する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の設問に対して、最も肯定的な「思う」を回答する児童の割合を35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の設問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を75%以上とする。
- 学校アンケートにおける「国語の授業の内容はよく分かる」「算数の授業の内容はよく分かる」の設問に対して肯定的に回答する児童の割合を83%にする。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を前年度より1ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日は除く)
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を90%以上にする(基準1=時間外勤務時間が45時間を超える月数を0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

大阪市立大隅東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート) (I)安全・安心

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことがありますか」の設問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする</p> <p>○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合 90 %以上を維持する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【I 安心・安全な教育活動の充実】(いじめへの対応)</p> <p>○日常の観察と定期的なアンケートの実施や人権週間における標語の作成、仲間づくりに関する人権教育の実践等を通し、一貫した指導を行い、いじめのない学級づくりを進める。また、認知したいじめに対しては、その事案・指導内容・事後の様子等について記録し、全職員で共通理解する。</p>	
<p>指標</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことがありますか」の設問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85 %以上にすると共に、児童理解研修会を年間8回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【I 安心・安全な教育活動の充実】(学校のきまりを遵守)</p> <p>○年度初めに「学校のきまり」に記載している内容を全教職員間で共通理解し、一丸となって指導にあたる。また、子どもたちが規範意識を高め、互いに注意し合える仲となるように指導する。</p>	
<p>指標</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の設問に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90 %以上にする。</p>	
<p>取組内容③【I 安心・安全な教育活動の充実】(学校生活の充実および不登校への対応)</p> <p>○学習面、生活面の両面から子どもたちをよくみて指導し、学校行事や委員会活動、たてわり班活動を通して、一人ひとりが達成感を感じられるように努める。不登校傾向にある児童については、その原因を取り除くように家庭と学校、生活指導支援員や関係諸機関等とも連携をとり、原因解決に努める。</p>	

<p>指標</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の設問に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85 %以上にする。</p>	
<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】（道徳教育の推進）</p> <p>○子どもが互いのよさを認め合える集団作りをし、指導者がほめることで、子どもの自尊感情が高まっていくように支援していく。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75 %以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【豊かな心の育成】（キャリア教育の充実）</p> <p>○各種出前授業で多様な文化や自然に触れる体験的な活動や、生活指導・集団育成の取り組み等を通して、感動と共に、他者への感謝の気持ちを持ち、責任ある行動をとることができる自律的な規範意識を醸成する。</p>	
<p>○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% になると共に、関西万博を全学年が体験し、異文化に触れる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立大隅東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート) (2)学力・体力

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の設問に対して、最も肯定的な「当てはまる」を回答する児童の割合を 35 %以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の設問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 75 %以上とする。</p> <p>○学校アンケートにおける「算数の授業の内容はよく分かる」の設問に対して肯定的に回答する児童の割合を 83 %にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を前年度より 1 ポイント減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>○様々な教科・活動において、ペア交流・グループ交流・全体交流の場を設定し、互いに意見を交流し考えを深める学習を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートで「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の設問に対して、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】(理数教育の充実)</p> <p>○学びコラボレーター や サポーター 等による授業の入り込み、算数科の習熟度別学習、放課後ステップアップ教室の開設等、手厚い支援を行う。</p> <p>○毎週木曜日の朝学習の時間に、基礎的な計算問題のプリントや、学習者用端末で算数ドリル学習に取り組ませることで学習の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「算数の授業の内容はよく分かる」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査 算数における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を前年度より1ポイント減少させる。</p>	
<p>取組内容③【健やかな体の育成】(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>○スポーツテスト週間やなわとび週間、かけ足週間、大なわ大会等、学期に 1 回程度、児童が運動に親しめる機会を設定する。</p>	

<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「運動（体を動かすこと、遊びも含む）やスポーツをすることは好きですか。」の設問に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【健やかな体の育成】（健康教育・食育の推進）</p> <p>○年3回の「元気もりもり週間」をなわとび週間、かけ足週間とも絡めて設定し、児童の生活習慣の向上を図る。</p> <p>○各学年、年2回の栄養指導を行い、食生活に対する意識を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>○月1回の睡眠に関するアンケート「前回のアンケートから今日まで、1週間の半分くらい、各学年の目標の時間までにねることができましたか。」の設問に肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p> <p>○学校アンケート「栄養バランスを考えて食べていますか。」の設問に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p>	

大阪市立大隅東小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート) (3)教育 DX

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日は除く)</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を90%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育 DX の推進】(ICT を活用した教育の推進)</p> <p>○学習者用端末を用い心の天気やナビマ、調べ学習などを学年の発達段階に応じて活用する。</p>	

指標	
○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】(働き方改革の推進)	
○会議等を精選し、月中行事予定表やスケジュールボードに必ずゆとりの日を明記し、教職員の働き方改革への意識を向上させる。	
指標	
○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を90%以上にする。	
取組内容③【8 生涯学習の推進】(学校図書館の活性化)	
○図書ボランティアによる読み聞かせ、休み時間等の図書館開放、学級文庫の入れ替え、公共図書館による団体貸し出しなどを利用し、児童が本に親しむ機会を増やす。	
指標	
○学校アンケートにおける「読書は好きですか」の設問に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	